

平成18年度 田園環境検討委員会(第2回) 審議地区 一覧表

番号	事業名	地区名	事業主体	関係市町村	受益面積 (ha)	事業費 (百万円)	事業内容	予定工期	備考
1	一般農道整備	赤谷2期	県	美馬市	34	150	道路工 280m 幅員5.0m	H 20 ~ H 24	
2	ため池等整備	藤谷池	県	阿南市	6	67	堤体工 83m 取水工 洪水吐工	H 19 ~ H 21	
3	ため池等整備	一の坪	県	吉野川市	10	136	堤体工 50m 取水工 洪水吐工	H 19 ~ H 23	第1回委員会で完了。
4	ため池等整備 (農業用河川工作物応急対策)	大井堰	県	海陽町	316	150	堰体補修工 132m 護床工	H 20 ~ H 23	
5	湛水防除事業	上八万	県	徳島市	62	1,400	排水機場 排水ポンプ 1,200mm×2台 除塵機等	H 19 ~ H 23	第1回委員会で完了。
6	経営体育成基盤整備	段関	県	鳴門市	46	552	排水路 3300m 農道 1000m	H 19 ~ H 24	
7	中山間地域総合整備	三野西部	県	三好市	154	1,350	用排水路 7路線 8,140m 農道 4路線 1,670m ほ場整備 3地域 A=12.2ha 集落道 2路線 2,490m	H 19 ~ H 24	
計	7地区					3,805			

平成18年度 田園環境検討委員会 審議地区 環境調査・配慮対象対比表

番号	事業名	地区名	生物調査項目、調査季					配慮対象		配慮対策		備考		
			ほ乳類	鳥類	は虫・両生類	魚類・底生動物	昆虫	植物	平成18年10月時点	平成19年2月時点	平成18年10月時点		平成19年2月時点	
1	一般農道整備事業	赤谷2期	-	-	-	-	-	夏 H18.8.24 種数 117種 代表種 アキノコガサ、 コツギノコ、 北ノ	キジカクシ	同左	・キジカクシについては、より詳細な計画が立てられた時点で、その生育地が改変範囲となった場合、再度専門家と移植を協議する事とする。	同左	植物 (調査者) (同定者) 徳島県植物研究会 木下 覺	
								(希少種) キノカクシ	地域の植生	同左	・工事に関わる伐採は最小限にとどめる。 ・河川への濁水の流出等、水質汚濁に対して適切な保全対策を行う。 ・法面の吹き付けについては、在来種子を利用したものとする。	同左		
								秋 H18.10.4 種数 133種 代表種 スギ、 北ノ、 ヤツリガサ						
								(希少種) -						

平成18年度 田園環境検討委員会 審議地区 環境調査・配慮対象対比表

番号	事業名	地区名	生物調査項目、調査季						配慮対象		配慮対策		備考
			ほ乳類	鳥類	は虫・両生類	魚類・底生動物	昆虫	植物	平成18年10月時点	平成19年2月時点	平成18年10月時点	平成19年2月時点	
2	ため池等整備事業	藤谷池	-	-	-	夏 H18.7.11~12 種数 4種(魚類) 9種(底生) 代表種 オナモミ、 ドブガイ、 スズメ	-	夏 H18.8.25 種数 159種 代表種 クサシ、 ワレモコ、 ヒヨドリバナ  (貴重種) ギンラン、 スズサイコ	スズサイコ	同左	・スズサイコについては、工事期間中は、周辺土壌ごと、よく似た環境に避難させ、工事後に対策を施した箇所に戻すこととする。	同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物 (調査者) (同定者) 徳島県植物研究会 木下 覺</li> <li>魚類、底生動物、 (調査者) (同定者) ネチャ-イサト 高田 雅人</li> </ul>
						秋 H18.10.25 種数 205種 代表種 スズメ、 ワレモコ、 ツリガネソウ  (貴重種) スズサイコ	ため池の水生物 (ドブガイ等)	同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ため池内の水を排出する場合は、徐々に水を排出し、ため池内部に溜水域を確保し、既存の水生物が避難できるようにする。</li> <li>・提体内側の張りブロックについては、現況の環境との連続性をもたせる位置に、植物が生育しやすい多孔質のコンクリート製品を使用する。</li> <li>・工事に関わる作業ヤードは必要最小限とする。</li> <li>・工事後もオオクチバス等が放流されないよう啓発を行う。</li> <li>・ドブガイについては、自ら移動できないので、工事中に溜水内に、人の手によって移動させることとする</li> </ul>				

平成18年度 田園環境検討委員会 審議地区 環境調査・配慮対象対比表

番号	事業名	地区名	生物調査項目、調査季					配慮対象		配慮対策		備考	
			ほ乳類	鳥類	は虫・両生類	魚類・底生生物	昆虫	植物	H18.10月時点	H19.2月時点	H18.10月時点		H19.2月時点
4	ため池等整備事業 (農業用河川工作物 応急対策)	大井堰	-	-	-	夏 H17.8.8~10 種数 25種 代表種 ウギ ギンナ オカ カムツ ウイマツカ シトジョウ ア シマヨシホリ カニ ミミナガヒ ヌエ 希少種 タカヤ トジョウ アガ カキ(アカカ) スミキゴリ ホウスハセ ルヨシホリ クヨシホリ ヒラテナガヒ ヤマトヌエ モクスガニ	-	夏 H.18.7.26 種数 108種 代表種 アキノコグサ ニホコリ コメカヤツリ ナギナガヤ ヒメカヨキ メケカガ 希少種 -	回遊性魚類 カマキリ	同左	<p>・旧来の河道である右岸側の堰本体と水叩き部分を、縦断方向と横断方向に緩傾斜をつけ、新たに魚道部とし水深に変化をもうける。さらにその部分に、植え石を設け流速の制御をおこない、多種の魚介類の移動を可能とする。</p> <p>・旧来の河道である右岸側の堰本体と水叩き部分を縦断方向に緩傾斜をつけ、その下流側を異形ブロックにより現況河床にすり付けた。これにより堰での河川の段差、分断を解消し、生物的連続性を確保する。</p> <p>・工事中の土砂流失や濁水流下を最小限につとめ、下流の動物への影響を軽減する。</p>	同左	<p>植物 (調査者) 水土里ネット徳島 矢野周造 ウヰランド 中村俊之 (同定者) 徳島県植物研究会 木下 覺 ウヰランド 中村俊之 水土里ネット徳島 矢野周造</p> <p>魚類・底生生物 (調査者) ネチャーインサイト 高田雅人 永田昭廣 平松 亘 (同定者) ネチャーインサイト 高田雅人 永田昭廣</p>
						在来植生	同左	<p>秋 H.18.10.19 種数 120種 代表種 セイタカアワダチソウ カムグラ ヤブマ コシガマ ツルヨシ ネコヤギ 希少種 -</p>		<p>・仮設道や作業ヤード設置による用地をできる限り少なくし、在来植生への影響を軽減する。</p> <p>・低公害型の作業機械の使用と重機からの油類の流出、飛散に注意し、周辺の植物への影響を軽減する。</p>	同左		

平成18年度 第1回 徳島県田園環境検討委員会 助言・指導事項と対応方針

事業名	地区名	助言・指導事項	対応方針
経営体育成基盤整備事業	段関	<p>1. カワバタモロコの保全に係る排水路の工法（案）を検討する場合に、蓮田と排水路の間の移動のことも検討する必要がある。</p> <p>2. 本地域は貴重な植物の種も多く、その保全の必要がある。</p>	<p>1. 現在カワバタモロコの生態について調査研究中であり、今後工法の選定において、専門家の意見を取り入れ、蓮田と排水路の間の移動のことも含めて検討を行う。</p> <p>2. 植物の生育地の土壌を、工事によって影響の受けないうちに移動させ工事後戻す等、影響を極力小さなものになるよう、検討を行う。</p>

平成18年度 第2回 田園環境委員会 審議地区 環境調査・配慮対象対比表

番号	事業名	地区名	生物調査項目・調査季					配慮対象		配慮対策		備考	
			ほ乳類	鳥類	は虫・両生類	魚類・底生動物	昆虫	植物	H18.10月時点	H19.2月時点	H18.10月時点		H19.2月時点
6	経営体育成基盤整備事業	段関	-	-	-	秋 H17.9.12 ~ 13 種数 24 種 代表種 コイ ゲンコ、ロウブナ タイリクハ、ラナゴ カダヤシ ヒメタニシ スジヒ 希少種 ヤリタナゴ カハ、クモ モツコ クモ ドシヨウ ムカ	-	春 H18.5.8 ~ 9 H18.6.12 種数 195 種 代表種 ウキウキ、イガサシ エモ、ゴキスル マコエ、ヨモギ ナスナ、カラスノエンドウ 希少種 サゲウサ、コキシシ コイガサシ、オオアブノメ カチシヤ、イヌノゲリ アヅマツメウサ、イトクスモ ミズアオイ、フシマツバイ チャホイ	貴重な魚類 (カハ、クモ・ヤリタナゴ・ムカ・ドシヨウ・モツコ)	同左	・水路側壁部を魚巢ブロックやカゴ枠等により、空隙部をつくり魚類の生息空間とする。 ・工事の際、重機からの油流失、飛散に注意する。	同左	魚介類 (調査者) 日本ミズウサギ、K 渡辺竜之 野村恒平 竹下将生 塩尻匡浩 印部善弘 若月高明 (同定者) 日本ミズウサギ、K 渡辺竜之 野村恒平
						春 H18.6.8 ~ 10 種数 15 種 代表種 キンブナ タイリクハ、ラナゴ カヨボリ カダヤシ ヒメタニシ スジヒ 希少種 モツコ ドシヨウ ムカ トウヨシホリ縞鱈型		夏 H18.7.13,25 H18.8.10,25 種数 191 種 代表種 ウキウキ、イガサシ マコエ、ゴキスル カツリガサ、ヨモギ エノキウサ、ハマスゲ 希少種 サゲウサ、コイガサシ ミズアオイ、フシマツバイ チャホイ、コガマ					
						夏 H18.8.2 ~ 4 種数 14 種 代表種 キンブナ タイリクハ、ラナゴ カダヤシ ヒメタニシ スジヒ 希少種 モツコ ドシヨウ ムカ トウヨシホリ縞鱈型		秋 H18.10.25 ~ 26 種数 284 種 代表種 ウキウキ、イガサシ エモ、ゴキスル マコエ、ヨモギ ナスナ、カラスノエンドウ 希少種 サゲウサ、カチシヤ コイガサシ、コガマ ミズアオイ、チャホイ フシマツバイ					

平成 18 年度 田園環境検討委員会 審議地区 環境調査・配慮対象対比表

番号	事業名	地区名 所在地	生物調査項目、調査季				配慮対象		配慮対策		備考		
			ほ乳類	両生・は虫類	魚類・底生動物	水生昆虫	植物	H18.10月時点	H19.2月時点	H18.10月時点		H19.2月時点	
7	中山間地域総合整備事業	三野西部	-	夏 H18.8.17～18 種数4種 アマガエル トノサマガエル ツチガエル ヌマガエル	夏 H18.8.17～18 種数12種 タカハヤ ドジョウ シマドジョウ ナガレホトケドジョウ ナマス ドンコ カヨシノホリ カリナ ハブタイモノアラガイ サカマキガイ ヒラマキガイモドキ サリガニ  (希少種) タカハヤ ナガレホトケドジョウ ドジョウ	夏 H18.8.17～18 種数25種 ヒメフタオカゲロウ属 オビカゲロウ フタシモンカゲロウ コオニヤンマ ウスバキトンボ フタツメカリゲラ属 トウゴウカリゲラ コセアカアメンボ ヒメアメンボ ハネナシアメンボ コオイムシ ミズカマキリ マツモムシ  (希少種) コバンビケラ カクツツビケラ属 チビゲンゴロウ タマガムシ等  (希少種) コオイムシ	夏 H18.8.17～18 種数306種 代表種 ミズナラ アカシテ コナラ アラカシ等  (希少種) ミヤコアオイ クロフネサイシン コバンチョウセンエノキ  ----- 秋 H18.10.17～18 種数336種 代表種 ヒメミソハギ ニシノヤマタインガサハ ナビセリ等  (希少種) ミヤコアオイ クロフネサイシン コバンチョウセンエノキ	夏 H18.8.17～18 種数306種 代表種 ミズナラ アカシテ コナラ アラカシ等  (希少種) ミヤコアオイ クロフネサイシン コバンチョウセンエノキ	溪流に生息する 魚類(タカハヤ、ナ ガレホトケドジョウ)	同左	事業区域内から生息が確認さ れた下流の地点までは約 2.5kmあるため、魚類に対して は特に影響は無いと考えられ るが、下流域は自然環境の残 された谷あいであるため、工事 実施中には重機等による油類 、土砂の流出等に注意する。	同左	植物 (調査者) 夏季 森定 伸 小川みどり (同定者) 森定 伸 小川みどり (調査者) 秋季 森定 伸 小川みどり (同定者) 森定 伸 小川みどり  魚介類・水生昆虫類 (調査者) 夏季 山下博康 東口信行 (同定者) 山下博康 東口信行
				水田、水路に生 息する水生生物 (ドジョウ、コオイムシ )	同左	・主要な生息地である湿地(休耕 田)の直接的な改変は予定さ れていないが、排水路、農道 整備に伴う水路と田面の分断 及び落差が生じるため、水田と 排水路の移動を可能とする箇 所を設ける。	同左	魚介類・水生昆虫類 (調査者) 秋季 森定 伸 小川みどり (同定者) 森定 伸 小川みどり					
				森林に生育する 植物(ミヤコアオイ、 クロフネサイシン)	同左	・管水路の施工に際しては、 できるだけ周辺の植生に影響 を与えないよう配慮する。	同左	魚介類・水生昆虫類 (調査者) 夏季 山下博康 東口信行 (同定者) 山下博康 東口信行					